

英語科学習指導案

日時：平成18年11月21日(火) 5校時

学級：二戸市立福岡中学校

2年4組(男子18名、女子17名 計35名)

場所：2年4組 教室

授業者：吉田 真美

1 単元名 The Story of Silent Night

(NEW HORIZON ENGLISH COURSE BOOK UNIT6)

2 単元設定の理由

(1) 教材性や指導価値について

本単元は、欧米の代表的年中行事であるクリスマスを扱い、「きよしこの夜」をめぐる話題を取り上げている。クリスマスソングの代表曲でもあるこの有名な曲が、実はオルガンが壊れたため、ギターを使い苦労して完成したという内容に生徒は興味を持ち、読み進められる。また、本来の欧米のクリスマスの風習を知ることが、異なる文化を理解する上で大切である。

文法事項は、there is(are)構文と動名詞(目的格・主格)を扱う。there is(are)構文については、形・意味・用法を理解させ、場所を表す前置詞語句を用いながら場面や状況を正確に伝えることができる力を身に付けさせたい。動名詞については、動詞にingをつけることで名詞の意味を持つことを既習の不定詞を想起させながら理解させたい。

クリスマスをテーマにしたこのエピソードは、心温まる物語となっていて、暗唱にも適している。ノンフィクションを読んで、場面の变化や登場人物の心情などを読み取り、それが表れるように朗読させたい。感情を表すためにイントネーションを重視させ、BGMを効果的に使い感情を込めて読むdramatic readingにも取り組ませたい。

(2) 生徒の実態

学級全体としては男子に落ち着きがなく、逆に女子が落ち着いた生徒が多い。全体的には人任せにする傾向が見られるが、活動を続けていくうちに女子が盛り上げて男子もそれに合わせていくことが多い。

英語の授業では、積極的に挙手をする生徒が多いが、中には、よく考えずに挙手をして指名後にとまどったり、発表について聞き返すとあきらめてしまう生徒もいる。これは宿題をはじめ、家庭学習の定着がなされていない生徒によく見られる。また、前時の既習内容を家庭学習等で復習しようとする意識が不足しているため、かなり前の学習内容も含めたwarm upを日々取り入れていく必要がある。warm upでの英問英答は生徒同士の援助もあり、殆どの生徒があきらめることなく努力している。「書くこと」を面倒に感じる生徒もいるし、自己表現に至っては多くの生徒が悩んでしまい、作業に時間を要する傾向がある。音読練習については多くの生徒がよく声を出し、ペア活動を通して互いに助け合う姿も見られる。しかしながら、内容を考えながら、内容が伝わるように音読する点については、不十分である。

昨年度末に行ったNRT検査の結果を見ると、大領域別で全国と比べて下がったのは「読むこと」だけであり、長文を読みとることに難しさを感じていることがわかる。しかし、項目別に見ると、「話すこと」の中の「積極的に会話をする事」が一番落ち込んでいる。

以上の実態を踏まえ、内容を理解し、その内容が伝わるように音読ができるような手立てを組むことにより、生徒の表現力を高めていきたい。

3 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標

[コミュニケーションへの関心・意欲・態度]

- ・「きよしこの夜」が生まれた逸話を積極的に読み進めようとする。

[表現の能力]

- ・ there is(are)構文や動名詞を用いて身の回りの事実や自分の考えなどを正確に表現できる。
- ・ 内容が伝わるように、音読することができる。

[理解の能力]

- ・ there is(are)構文や動名詞を用いて伝えられた事実、物語などの内容を正しく理解できる。

[言語や文化についての知識・理解]

- ・ there is(are)構文や動名詞を含む文の形・意味・用法を正しく理解する。
- ・ クリスマスでの習慣や歌が誕生した経緯について理解を深める。

4 指導と評価の計画 (Unit 6・・・7時間計画)

時数	ねらい・主な学習内容	観点別評価の重点領域												学習活動における具体的な評価規準	
		関・意・態				表現			理解		言語・文化				
		L	S	R	W	S	R	W	L	R	L	S	R		W
1.5	【 Starting Out 】 ・ there is(are) 構文を用いた文の形・意味・用法を理解し表現できる。														there is(are)構文を用いて、自分の身の回りや絵についての英文を話すことができる。 A：複数のつながりのある文で話すことができる。 努力：語順を再度指導する。
1.5 本時 1/1.5	【 Dialog 】 ・ there is (are)構文を用いた文の形・意味・用法を理解し、簡単な対話ができる。 ・ 対話の内容が伝わるように、気持ちをこめて音読できる。														Is (Are) there ~?を使い、語順を理解し、Yes / No で応答ができる。 A：Is (Are) there ~?を使いbe動詞や単数・複数を区別し正しく問答できる。 努力：語順を再指導する。 気持ちをこめて本文を音読することができる。 A：登場人物の感情に合わせて強弱や抑揚に留意しながら音読できる。 努力：語句の発音や、フレーズの区切り方を指導する。
1.5	【 Reading for Communication. 気持ちをこめて朗読しよう 】 ・ 動名詞(目的格)を用いた文の形・意味・用法を理解し表現できる。 ・ 物語の内容が伝わるように、気持ちをこめて音読できる。														気持ちをこめて本文を朗読することができる。 A：登場人物の感情に合わせて強弱や抑揚に留意しながら朗読できる。 努力：語句の発音や、フレーズの区切り方を指導する。
1.5	【 Reading for Communication. 気持ちをこめて朗読しよう 】 ・ 動名詞(主格)を用いた文の形・意味・用法を理解し表現できる。 ・ 物語の内容が伝わるように、気持ちをこめて音読できる。														気持ちをこめて本文を朗読することができる。 A：登場人物の感情に合わせて強弱や抑揚に留意しながら朗読できる。 努力：語句の発音や、フレーズの区切り方を指導する。

	【Your Turn】 ・登場人物のせりふを気持ちよく朗読できる。																			気持ちをこめて本文を朗読することができる。 A：登場人物の感情に合わせて強弱や抑揚に留意しながら朗読できる。 努力：語句の発音や、フレーズの区切り方を指導する。
1	【Listening Plus 6】 ・クリスマスコンサートの案内やそれに関する対話を聞いて内容や大切な情報を聞き取ることができる																			案内や感想を聞き取るうとしながら、対話を聞いている。 A：内容を考えながら、聞き取るうとしている。 努力：聞き取るポイントを焦点化する。

は授業を通して、実際に評価を実施する観点であり、 は可能なら実施する観点である。

5 本時の指導について

(1) 本時の目標

基本文を含む本文を適切なスピードで、ストレスを付けながら読むことができる。

(表現の能力)

本文や英文を聞いたり読んだりして、その内容を理解することができる。(理解の能力)

Is (Are) there --? の形と意味を理解し、それをを用いて簡単な対話ができる。

(言語や文化についての知識・理解)

(2) 評価と具体的評価規準

評価の観点	A：十分満足できる	B：おおむね満足できる	C：努力を要する生徒への具体的対応と手だて
表現の能力	ストレス、区切りなど基本的な音声の特徴に慣れ、適切なスピードで表現豊かに音読することができる。	ストレス、区切りに注意しながら、語句の発音や音読ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・机間巡視による個やペアへの指導 ・時間的な配慮 ・音読プリントの活用
理解の能力	英文を聞いたり読んだりして、その内容を正しく理解できる。	英文を聞いたり読んだりして、その内容を理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリントの活用
言語や文化についての知識・理解	Is (Are) there --? を使い、正しく問答できる。 標準的な発音、アクセント、ストレスなどを理解できる。	Is (Are) there --? を使い、問答できる。 発音、アクセントが理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・机間巡視による教師の援助学習プリントの活用。 ・口頭指示によるチェックを与える。

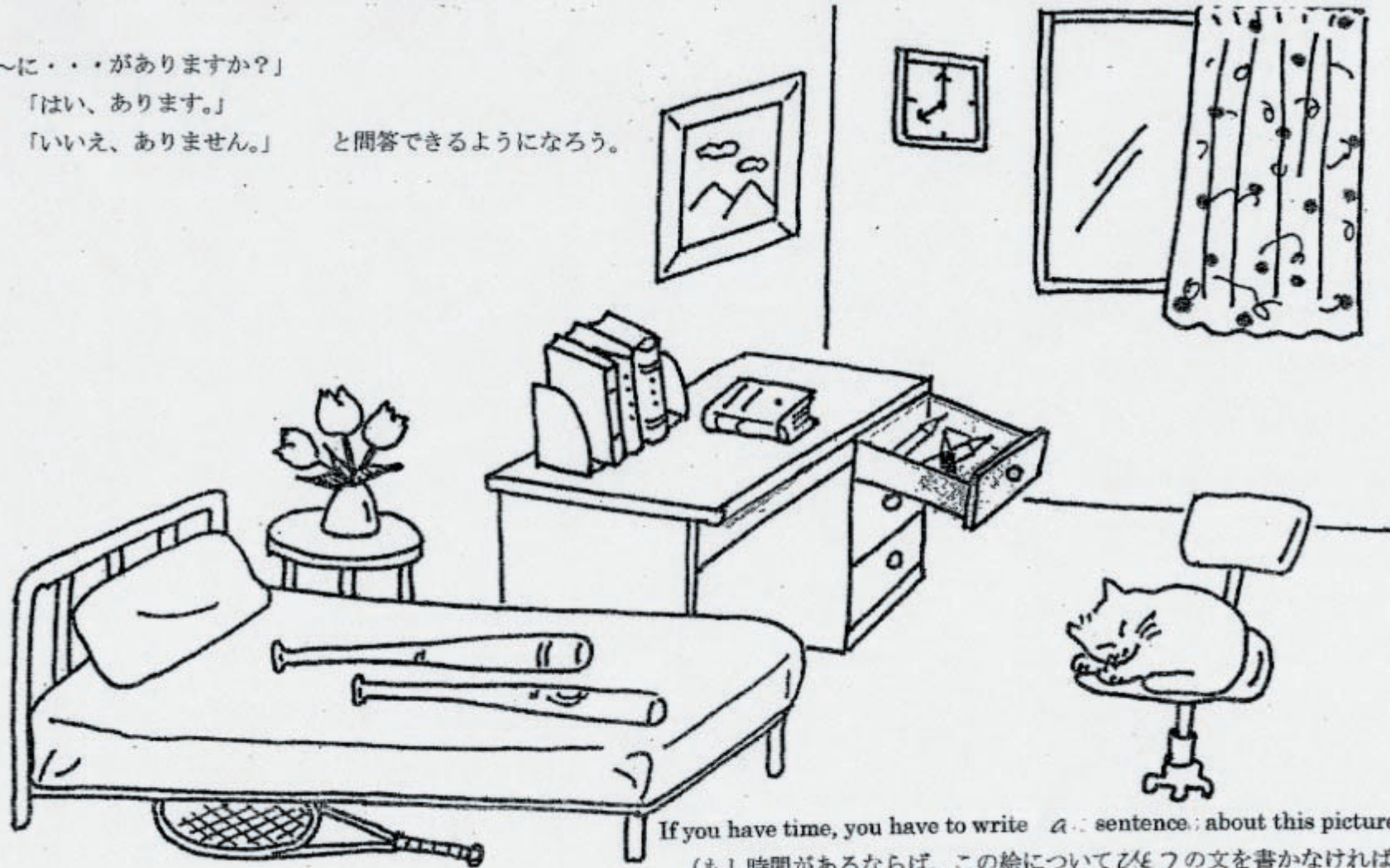
(3) 本時の展開

段階	学習内容	学習活動	評価・留意点 評価の観点
導入 15分	1 あいさつ 2 Warm up 3 前時の復習と基本文の定着練習	<ul style="list-style-type: none"> 既習文型や単語の復習 <p>There is a Christmas tree in the room. There are two snakes by the box.</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵を見てペア同士で Is (Are) there ~ ? を使って質問し、Yes、 there is (are). か No、 there isn ' t (aren ' t). で答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 明るくはっきりと行う。 学習の雰囲気作りと既習事項の定着を目指して行う。 <p>絵を見てペア同士で積極的の問答しあえたか。 (知識・理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> 机間巡視による下位生徒への支援を行う。
展開 30分	4 目標の確認 5 新出単語の発音と理解 6 本文の内容理解 7 本文の音読 8 対話文の内容を変えて練習	<p>GOAL 内容が伝わるように、音読してみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師のモデルをもとに新出単語の発音と意味を理解する。 CD で本文を聞き、その意味を理解する。(1 回目は教科書を閉じた状態で聞き、 2 回目は見て確認する。) プリントの読み取り観点の確認をする。 本文を教師の指示に従って音読する。単語、区切り、一斉、ペアで音読練習を行う。 *ペアによる発表(1 ~ 2) 本文の一部を変えて対話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 新出単語の本来の意味確認をする。 <p>プリントの観点に沿って、本文の内容を理解することができる。(聞く・理解)</p> <p>しっかり声を出してストレスや区切りに気を付けて音読することができる。 (読む・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> 口頭指示によるチェックを行う。 机間巡視による下位生徒への支援を行う。 声を出し、ストレスや区切りに気を付けながら内容が伝わるように発表している。 (話す・表現)
終結 5分	9 まとめ 10 次時の予告と宿題	<ul style="list-style-type: none"> 基本文型をストレスに気を付けながら読み、意味を確認する。 本文の音読練習とワーク(宿題) 次時は音読確認テストを行う。 	

「～に・・・がありますか？」

「はい、あります。」

「いいえ、ありません。」 と問答できるようになろう。



If you have time, you have to write a sentence about this picture.

(もし時間があるならば、この絵について2行の文を書かなければならない)

Q1

Ans.

